

Before



Aftor



佐藤ディレクターに「格式ある門から式台(玄関)までまっすぐなのがすばらしい」と絶賛された江川邸表門と主屋。大道具さんの手によって、あっという間に島津御一門四家・今和泉島津家のお屋敷に早変わり。どこが変わったか、皆さんわかります？

休憩時間、出演者の皆さんも差し入れの温泉まんじゅうを「バクリ」



さまざまな人たちの努力によって、このお屋敷が現代まで保存されてきたということ、そして、現・江川家当主の江川滉二さんや管理している方々が、撮影を快く受け入れてくれたことに、非常に感謝しています。

撮影は、下田市も含め四日間にわたり行われ、一日平均約百四十人のスタッフが、市内外の宿泊施設に延べ五百し、市内外の弁当業者に延べ千八百食の弁当が注文されま

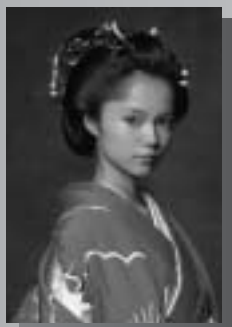
した(詳しくは五ページ表2)。また市民をはじめ地元の仕事ストラムも一日平均約三十人出演。今回はなんと、伊豆の国観光協会の安田昌代会長も、篤姫お付きの位の高い侍女役で出演しました。

この江川邸で撮影されたシーンは、来年一月六日(日)放送の『篤姫』第一回から登場。その他にも、第五、七、十二回などで放送される予定です。皆さん、お見逃しなく。

あらすじ

薩摩・島津家のわずか1万石余の分家に生まれながら、將軍正室にまでなるシンデレラストーリーのような篤姫の人生は、一方で波乱と苦難の連続…。幕末の動乱に、自らの運命を前向きにとらえ生きた『薩摩おごじょ』の一生を、熱く描きます。

原作：宮尾登美子『天璋院篤姫』  
脚本：田淵久美子  
監督：佐藤峰世ほか  
出演：宮崎あおい 瑛太 松坂慶子 高橋英樹ほか



NHK大河ドラマ『篤姫』  
平成20年1月6日(日)  
放送開始!!

年明けは、家族みんなでテレビを見ましょう!



宮崎あおいさんが江川邸から、駕籠に乗って旅立つシーン。残念ながら役者さんは撮影できませんので、詳しい内容はドラマの本放送にて!



市長が佐藤峰世エグゼクティブ・ディレクターを陣中見舞い。「撮影がんばって!」

伊豆でNHK大河ドラマのロケが行われるのは、昭和五十四年の『草燃える』以来、二十八年ぶりのこと。

国の重要文化財に指定されている葦山葦山の江川家住宅(江川邸)で、来年放送予定のNHK大河ドラマ『篤姫』の撮影が行われました。このドラマは、幕末の動乱を生きた徳川十三代將軍の妻篤姫を



九月十九日に江川邸で、来年のNHK大河ドラマ『篤姫』のロケを敢行。

設定上は薩摩藩(鹿児島県)のお屋敷ですが、江川邸の構造や保存状態を高く評価されたので撮影でした。

描く物語。江川邸は、『主人公の篤姫が生まれた薩摩藩の今和泉島津家のお屋敷』という設定。撮影した内容は、江川家主屋で、島津家本家の養女となった篤姫(宮崎あおいさん)が、両親(長塚京三さん・樋口可南子さん)と別れ旅立つシーン、また江川邸の土間や蔵を今和泉家の領地に見立てたカットなどです。

江川邸で撮影することになった経緯は、番組スタッフが反射炉の勉強をするために伊豆の国市を訪れた際に、江川邸を知り、目にとまったため。大河ドラマ『篤姫』全編にわたって演出を担当する、NHK制作局エグゼクティブ・ディレクターの佐藤峰世さんは、江川邸を選んだ理由をこう語ります。



安田観光協会長(一番左)も侍女役でエキストラに参加。「とても面白い体験でした」

「江戸時代の門というのは、家の『格』によって決められていました。江川邸の門は、代官のお屋敷だけあって、立派な格式の門。『島津御一門四家』の一つであり、格式高い今和泉島津家の門として使わせていただくのに、ぴったりのイメージでした。また、門からまっすぐ式台(主屋の玄関)が見えるのもすばらしく、関東では他に知りません。